

新宮山彦ぐるーぷ第1980回
持経宿への巡回整備(南奥駆道巡視と小屋前の整備など)

◇実施日：2018年7月01日(日)～02日(月)
◇参加者：豊嶋 寛、大谷展郷、脇地眞理、村吉光夫。 計4名。

7月01日(日) 小雨一時曇り

朝6時に豊嶋車(村吉さん)から沖崎氏に砂・砂利調達運搬依頼があり、持経宿へ行くと伝えると、事前に沖崎宅で砂30kg+砂利40kgを積む)で新宮を出発し7時ごろに池原スポーツ公園着。ここから池郷林道に入り山道をひたすら走り、7時半頃にゲートに到着。ゲートを入った左側が新しく崩れている。途中、斜面の倒木切除や落石を除けながら8時20分に持経宿に着きました。ゲートからの林道は、所々崩れており四輪駆動で無いと無理な感じです。



池郷林道ゲート左側崩落



林道の倒木処理

雨はまだまだしよぼしよぼと降っており持経宿に着いても雨が止む様子は有りません。少し止みかけたので雨を押し歩いて

みました。しかし奥駆道は鎖場が多いので岩も鎖も濡れて怖かったです。

涅槃岳を過ぎて次の上りの所で1.5時半頃になったので戻る事としました。特に支障になる倒木や崩れている所もなかったです。行きの途中に涅槃岳で若い方に出会いました。ゲートに車を置いて沢に降り、魚(アマゴ)を釣りながら上流へ釣り上がって、涅槃岳に来たとの事です。



涅槃岳への途中



涅槃岳での溪流釣りの若者

16時前に持経宿に戻り、早いけど食事をすると言うなり、雨音を聞きながら魚(ししゃもやアジ干物)とお酒を楽しみました。20時頃に寝ようかと思っている頃の真っ暗な中に、天理市の村吉さんが、釈迦ヶ岳太尾登山口から大日岳へ砂利荷揚げ作業を終えて、白谷林道を経て到着されました。

行動タイム

新宮6:00→池郷林道ゲート7:30→8:20持経宿10:30→11:57涅槃岳↓12:34昼食&引き返す↓15:50持経宿。(20:00村吉さん到着)

7月02日(月) 雨

朝から雨が降っていました。村吉さんが山小屋の前の道ならしを始めるとの事で手伝いました。新宮から持ってきた砂利と砂(40kg)及び近くの山の砂利を採ってきて撒きました。いやはや雨の中なので中々の重労働です。

作業に入る前の7時頃に、昨日、村吉さんが大日岳で出会ったモンベル(Mont・Bell)の馬上さんが到着しました。昨夜途中、テント泊で「ずぶ濡れ」になったとの事で、大変そうでした。

コーヒーを接待し、モンベルと「岳人」誌の関係などを聞きました。

砂利採取作業から戻る途中(8:20)の雨の中を馬上さんは出発しました。



小屋前に砂と砂利を撒き整備

作業後しばらく時間を潰しましたが、天気は雨でまだまだ回復しそも無い為、山歩きは中止とし、山を降りる事としました。途中、きなりの郷のトイレに寄ったあと、村吉さんと別れ昼には新宮着でした。

行動タイム

朝食6:30 →7:10作業8:50↓持経宿9:30↓林道ゲート10:00
↓10:20きなりの郷トイレ↓12:00新宮。
(記:脇地)